

No.
07

ELPA Vision



ELPA 理事長就任のご挨拶

根岸雅史（東京外国語大学大学院教授・ELPA 理事長）

小中高大の連携に向けて 中野達也（駒沢女子大学教授・ELPA 理事）

ELPA 理事に就任して 羽山恵（獨協大学准教授・ELPA 理事）

オンラインと英語授業 中野達也（駒沢女子大学教授）

リーディングリテラシーとは何か

永田麗（日本語リーディングリテラシー研究会代表）

英語の語順トレーニング< Light > Level 1 / Level 2

ELPA ウェブサイト限定で販売中

学習者はテキストとデジタル機器で自宅学習を行い、

指導者はオンラインや教室で確認テストを実施することができます。

英語の語順トレーニング< Light >は、英語の土台を「聞く」「話す」「書く」の繰り返し、ディクテーションで定着させる、4技能対応型の新しい英語教材システムです。

■監修：法政大学教授 飯野厚

■学習レベル

□ Level 1 中学校・高等学校 1 年

□ Level 2 高等学校 1 年・高等学校 2 年

■テキスト構成

本冊 B5 版 56 ページ

Lesson 20 回+ Mix Training 5 回

※音声は専用サイトからストリーミングしてトレーニングを行います。

※解答・解説は専用サイトでダウンロードできます。

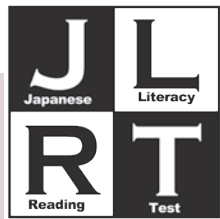
※指導者用に Lesson ごとのテスト PDF ファイルとテスト音声 CD があります。

定価：各 400 円（税別） ※ 30 冊以上のご注文に限ります。

◆ELPA 英語教育チャンネル 英語の語順トレーニング< Light > ご紹介 <https://youtu.be/RB-ls25W3cg>

お申し込み・お問い合わせは

英語の語順トレーニングサイト <https://elpa.or.jp/gojun/>



従来型読解力から「新・読解力」へ

現代日本語テキストを読み解くための 日本語リーディングリテラシーテスト

「主体的・能動的な学習」で必要となる総合的なリーディングリテラシー力がどの程度身についているかを、「知識、情報、データ読取、論理、文脈、内容把握」の6つの分野にわたる測定評価により把握することができます。テスト後、採点データ・スコアレポートをお届けします。

日本語リーディングリテラシーテスト 定価：620 円（税別）

■日本語リーディングリテラシーテスト問題概要■

◇仕様：マークシートによる多肢選択問題 ◇文章出題レベル：高校国語総合レベル ◇試験時間：約 50 分



Soc Dok は Web サイト上で動作する、新しい英語速読練習アプリです。英検 3 級レベルの問題の英文をひととおり読んで理解度チェックの正誤問題に答えると、自動的に WPM スコアが計算されます。授業の帯活動、講習、自学自習にお役立てください。

1 アカウント 360 円（税別） 三省堂版／東京書籍版／開隆堂版

ELPA 理事長就任のご挨拶

東京外国語大学大学院教授・ELPA 理事長 根岸雅史



この度、金谷憲先生からバトンを受け取って、理事長に就任した根岸雅史です。柄にもなくとはまさにこのことです。さらに困ったことに、私の理事長就任とコロナが重なってしまいました。多くの大学で対面でのテストの実施がなくなり、ELPA は大きな打撃を受けました。これは、ELPA に限らず、世界中の多くのテスト実施機関が同様の打撃を受けたと聞いています。感染症の広まりが、言語テストにこれほど大きな影響を与えるとは思っていませんでした。

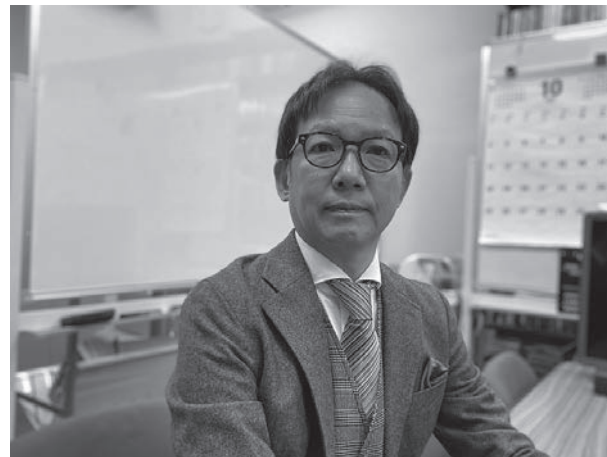
ということで、まさに、嵐の中の船出となりました。次々といろいろなアイディアを出してくださった金谷前理事長のようにはいかないのですが、まずはコロナ対応として、事務所の引っ越しを敢行することと致しました。慣れ親しんだ市谷から神楽坂への引っ越しです。このちょっと感性をくすぐるような街への引っ越しが、私たちに新たな発想をもたらしてくれることを祈らずにはられません。

さて、言語能力の評価に話を移します。評価には、本来たくさんの役割があります。言語能力の証明の役割や学習や指導の見取りといった役割、診断の役割、クラス分けの役割などなどです。そして、それぞれの役割や環境・予算などによって、さまざまな評価の形が必要となってきます。大規模テストをすべての目的に使うという流れがあるかもしれませんが、本来の目的の実現にはテストのローカライゼーションが必須です。テストのローカライゼーションは今後の言語テストの一つの方向性を示していると言えるでしょう。そして、こうした方向性に沿ったテスト開発が ELPA が今後担っていく役割ではないでしょうか。

最後に触れておきたいのが、ELPA は、学会や企業などとは違い NPO であるという点です。これは他のさまざまな組織と大きく異なる点でしょう。NPO であるからには、社会に貢献することが求められます。NPO としての ELPA のミッションを再認識し、そのミッションの実現に微力ながら貢献しようと思っておりますので、ぜひ皆様のお力添えをよろしくお願いします。

小中高大の連携に向けて

駒沢女子大学教授・ELPA 理事 中野達也



今や最長で小学校から大学まで英語を学ぶ制度が整っています。しかし、制度上の連携はなされていても、児童・生徒・学生の学び方、そして教員の意識は必ずしも同じ直線上にあるわけではないと感じています。それでも学習者はそれぞれの段階を経験しますから、いつどんな学びをするのかはある程度わかっています。一方で教員は同じ環境にあるため、自分が関わっていること以外の状況を把握しにくいという現実があります。

この問題を解決する一番の近道は、教員同士が気兼ねなく参加し、相互に疑問や意見を交換することができる場を設けることです。その点、ELPA の果たす役割は大きいと感じています。定期的に開催されるセミナーでは、小中高大の幅広い層から先生が集まり、互いの話に耳を傾けることができます。教室の目の前にいる生徒や学生がこれまでどのような学びをしてきたのか、そしてこれからどのような学びをしていくのかを思い浮かべ、教育現場が抱える課題について共に考える機会となります。

私自身、長く中学高校の教員をしていましたから、経験から学んだことを適宜お話ししながら、ELPA の一員として日本の英語教育の連携、発展に貢献できればと考えています。

ELPA 理事に就任して

獨協大学准教授・ELPA 理事 羽山恵

このたび ELPA 理事に就任いたしました、羽山と申します。ELPA との出会いが大学院生の頃、英語診断テストの作成（『英語診断テスト開発への道』）に関わらせて頂いた時です。それから 10 年以上の歳月が流れ、その間 ELPA セミナーやニュースレター、ELPA Vision を通して日本の英語教育事情にそったさまざまな「テスト」や「評価」の情報を得ることができました。これまでのご恩に報いるべく、微力ながら今後 ELPA の活動に貢献できるよう、精一杯努めたいと思います。

ご承知の通り、2020 年は新型コロナウイルス感染拡大のため教育界も大きな影響を受けました。小中高では重要な年度末・年度初めの時期に休校措置が取られ、子ども達の学習の遅れや評価の適切さが心配されました。大学においては、遠隔通信型（オンライン）授業が主流となりました。オンライン授業においても「評価」は大きな問題となりました。私の本務校では、公式な学期末試験が実施されませんでした。オンライン環境では、不正を厳格に防ぐことができないためです。そうすると、学期における受講生たちの達成を評価する手段は「レポート」が主となり、この状況は教員・学生の両方を「レポート漬け」、「締切漬け」、「採点・フィードバック漬け」の苦しみの渦に沈めていきました。私個人もその苦しみからなんとか逃れようと、時間制限や自動採点・集計機能などがあるオンラインテスト作成アプリをあれこれ試してみました。「下手な不正はさせない」、「頑張って・全力で受験しようという気持ちになる」、「回答・フィードバックを確認して学びが起ころ」などなどを考慮する中で、「評価の本質・目的」を再考する機会にもなりました。

日々の教育実践を通し、ELPA に貢献できるように努めます。どうぞよろしくお願いいたします。



オンラインと英語授業

駒沢女子大学教授 中野達也



目の前には色とりどりのアイコンが整然と並んでいる。アイコンは微動だにしない。マイクもカメラもオフの状態では授業は始まる。最初の頃はなんとも言えない居心地の悪さを感じたものだが、回を重ねるごとにあまり気にならなくなった。PC のスクリーン越しに学生たちの姿が想像できるようになってくるから不思議である。

COVID-19 の影響により、多くの大学が 2020 年度はオンラインにて授業を行っている。「対面こそ授業の本質」と揺るぎのない信念で 30 年以上にわたって中高大の教育に携わってきた私にとって、オンライン授業の実施はまさに晴天の霹靂であった。Zoom の研修を受けても、30 分刻みのスケジュール設定に、「10:55 から始まる授業はどうしたらいいのか？」としばらく悩んでしまうようなまったくの素人だったからだ。それでも何事も慣れである。学生たちに助けられながら、課題の授受からリアルタイムの授業まで、一通りのことはできるようになってきた。

オンライン授業では、学生たちの取り組みもいい。通学時間がないせい出席率も高い。質問の数も普通の授業よりも多い。「私たちは SNS 世代なので、相手の顔が見えない方が話しやすいんです」と言う学生もいる。「教室だったら前の人の後頭部しか見えないのに、オンラインだと 40 人が顔を合わせて授業ができるのが新鮮です」と話してくれた学生もいる。なるほど、カメラがオンであれオフであれ、教員にとって学生たちが皆こちらを向いている様子は対面授業と何ら変わりはないが、学生からはそう見えているのか。新たな発見であった。

オンラインの授業に慣れてくると今度は欲も出てくる。対面授業には及ばないという思いを敢えて振り払おうとして、最近では「オンラインだからこそできる授業」を模索している。2021 年の 4 月から中学校で新学習指導要領が導入される。今回の最大のポイントは「主体的対話的な深い学び」である。つまりアクティブ・ラーニングである。アクティブ・ラーニングと言えば、真っ先に頭に浮かぶのは、生徒たちがペアやグループになって、嬉々として活動に取り組んでいる姿である。しかし、今生徒たちはマスクをし、机の周りにアクリル板を立て、隣との席の間隔を広く空けなくてはならない。with コロナの授業では、ペアやグループワークは考えにくい。東京都の示すガイドラインには、「感染症対策を講じてもおお飛沫感染の可能性が高い活動は行わない」と書かれており、「グループや少人数等による話し合い活動」は行わない活動例に挙げられている。しかし、これもオンラインなら可能である。Zoom ならブレイクアウトルームを使えば簡単にグルーピングができる。Google Meet でもグループをいくつも作ることができる。在宅を余儀なくされ、友達との関わりが希薄になっている学生にとっては、少人数によるグループワークは楽しいようである。

教職の授業を中心に担当する私にとって、学生たちに模擬授業をさせる機会は多い。教科書の本文導入では印刷した写真や絵を黒板に貼る活動も多かったが、今はそれができない。パワーポイントを使って写真を提示したり、PC で単語のフラッシュカードを作って練習させることが当たり前のように行われるようになった。ICT への意識が高くなっている。模擬授業では授業担当者はカメラをオンにするが、常に自分の姿をモニターしながら授業を進めることができる。これまではスマートフォンの録画機能を使ってふりかえりをしていたが、リアルタイムで自己修正しながら授業を進められることもメリットであろう。

ただそうは言っても、授業開始前後の生徒・学生たちとの何気ない会話は生徒・学生理解に繋がるととても大切な時間である。それがしにくいのは、オンラインの限界とも言える。早く日常が戻ることを願いつつ、同時に with コロナの英語教育を考えることは、教育に関わる私たちに課せられた宿題と言えよう。
注）ここではオンデマンド型ではなく、同時双方向型の授業を話題としている

参考資料『新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン【都立学校】』
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2020/files/release20200619/guidelines01.pdf (2020.7.7 閲覧)

ELPA セミナー 2020 報告

2020 年度に開催したセミナーは以下のとおりです。全回 Zoom Webinar または Zoom で行いました。（全 7 回）
※ ELPA 会員になると ELPA が開催するセミナーへの参加（動画視聴含む）が無料になります。

2020 年 8 月 16 日 今求められる日本語リーディングリテラシー 2020 第 1 回

【講師】永田麗（日本語リーディングリテラシー研究会代表・河合塾ほか国語科講師）／堤晋介（日本語リーディングリテラシー研究会フェロー）／難波俊樹（東京富士大学非常勤講師）／白戸治久（ELPA）

2020 年 9 月 27 日 今求められる日本語リーディングリテラシー 2020 第 2 回

【講師】永田麗（日本語リーディングリテラシー研究会代表・河合塾ほか国語科講師）／堤晋介（日本語リーディングリテラシー研究会フェロー）／難波俊樹（東京富士大学非常勤講師）

2020 年 9 月 6 日 「オンライン授業」における日本の英語教育の現状と課題、今後の評価・テストへの提言

【講師】清水裕子（立命館大学教授）／中村洋一（清泉女学院短期大学教授）

2020 年 10 月 10 日 いま、なぜ AI 時代の教育が掲げられるのか？～教育用 AI サービス設計者による入門講座～

【講師】岡田健志（株式会社増進堂・受験研究社主任研究員）

2020 年 10 月 31 日 新学習指導要領と大学入試をつなぐ測定と評価の在り方

【講師】中村洋一（清泉女学院短期大学教授、長野県千曲市教育委員、日本言語テスト学会副会長）／渡部良典（上智大学教授、大学入試のあり方に関する検討会議委員、日本言語テスト学会会長）

2020 年 11 月 28 日 オンライン教育時代の英語能力別授業とその評価

【講師】中野達也（駒沢女子大学教授、前東京都立白鷗高等学校・附属中学校主任教諭、ELPA 理事）

2020 年 12 月 19 日 英語ブレイスメントテスト再考～今、その意義を問う

【講師】根岸雅史（東京外国語大学大学院教授、ELPA 理事長）、羽山恵（獨協大学准教授、ELPA 理事）

リーディングリテラシーとは何か

日本語リーディングリテラシー研究会代表 永田麗



現代社会を生きる我々に求められる「読解力」とは何か。この問いに答え、その指標を示すことを目的として「日本語リーディングリテラシーテスト」（以下、JRLT）は生まれました。リーディングリテラシー、つまり「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」（OECD・PISA 調査における定義）を「知識・情報・データ読取・論理・文脈・内容把握」の6つの観点から測定評価し、その修得やスキルアップへの道筋を示します。

従来の読解力、つまり「文学的文章や説明的文章などの連続型（1本の）テキストを読み、その内容＝情報を取り出す力」に終始せず、複雑化・流動化する現代社会のビジネスシーンにおいて、あるいは学習の場において求められる、より多面的な読解スキルといえる「リーディングリテラシー」。それが試される場として第1回「大学入学共通テスト」が行われました。本試験（第1回・1月15・16日実施分）を受験した482,546人のうち457,305人、実に94.8%の受験生が国語（現代文）を受験し、「新・読解力」を直接試されています。中でも（注）第1問（論理的文章）の間5で出題された「この文章を授業で読んだNさん」が作成した【ノート】1～3の空欄を補う際、本文とは別に設問で引用された芥川龍之介の小説「歯車」とを関連付けて横断的に検討する「複数のテキストを踏まえて答える設問」が、前述の「リーディングリテラシー」を試す問題となっています。また、数学や社会においても設問を理解するにあたって同様のスキルが必要とされることが指摘されています。

【問題 6】

次のグラフは気象庁が発表した 2017 年の東京における観測結果を示したものである。

最高気温、最低気温は 1 日ごとの最高気温、最低気温の月平均で示しており、降水量は 1 ヶ月の降水量の合計である。

このグラフから読み取って、事実と判断できるものには①、事実と異なると判断できるものには②、どちらも判断できないものには③と答えなさい。

問 21 この年で一番多く雨が降った日は 10 月のある日である。

【問題 14】

次の文章は芥川龍之介著「羅生門」の一節である。これを読んで、後の問いに答えよ。

その髪の毛が、一本ずつ抜けるのに従って、ア下人の心からは、恐怖が少しずつ消えていた。そうして、それと同時に、この老婆に対する激しい憎悪が、少しずつ動いてきた。——いや、この老婆に対すると言っても、（イ）があるかもしれない。むしろ、あらゆる悪に対する反感が、一分ごとに強さを増してきたのである。（中略）それほど、この男の悪を憎む心は、老婆の床に挿した松の木切れのように、勢いよく燃え上がりだしていたのである。

問 47 下線部ア「下人の心」とあるが、この場面における下人の心を表す語として最も適切なものを①～④から一つ選べ。

① 戦慄 ② 憤怒 ③ 忌避 ④ 憔悴

（注）1 第1回大学入学共通テスト 本試験（第1回）第1問（論理的文章）の間5

- この設問では、以下の（1）設問→（2）本文→（3）選択肢という「横断的な読み取り」が求められています。
- （1）設問（問5（Ⅲ）の【ノート3】）を読んで、【ノート3】11行目にある空欄 V が次の12行目「こうした自己意識」の指示内容にあたることを読み取る。
- （2）【ノート3】の12行目を手掛かりとして本文にあたり、「17」に書かれていた「『私』という近代に特有の思

想」にみられる「自己意識」を取材し、「『私』は私にとって『不気味なもの』」であること、これを本文 16 で「『人間』は…不安定な存在、『内面』というコントロール不可能な部分を抱えた存在として認識される」と説明していたことを読み取る。

（3）選択肢を検討し、肢②「『私』が自分自身を統御できない不安定な存在である」を選ぶ。

このような「横断的な読み取り」を求める設問が、今後の大学入学共通テストの国語（現代文）における軸となっていくことが予想されます。

前述の共通テストに見られるような横断的読み取りを含め、これから求められる「リーディングリテラシー」を研究する私たち「日本語リーディングリテラシー研究会」（以下、当研究会）では過日、JRLT にモニター参加していただけの学校を募集しました。ご参加いただいた多数の学校の採点結果の中から、興味深いデータが観察されましたので、その一端をご紹介します。以下はある高校の「各学年の1組」における得点データの一部とその比較です。

学年	総得点平均	最高点	最低点	（注）2「情報」平均	（注）3「内容把握」平均
1 年	62.6	83	42	9.3	14.2
2 年	66.3	81	36	10.2	15.7
3 年	66.5	83	46	9.7	15.9

（注）2 JRLT「情報」分野／（注）3 「内容把握」分野の問題サンプル（実施されたテスト問題とは異なります）

さらにサンプルデータを蓄積し、その推移を注意深く追跡する必要がありますが、上記のデータから推察されることとして、

- ①同一クラスにおける最高点と最低点の差が大きく、一見同じに見える学力層のなかでも「リーディングリテラシー（以下 RL）格差」が存在すること
- ②高1 学齢（16 歳）と高2 学齢（17 歳）の間で総得点平均が 3.7 ポイント増加しているのに対し、高2 学齢と高3 学齢（18 歳）の間で総得点平均にほとんど差がみられないことから、
- （1）高1 学齢（16 歳）から高2 学齢（17 歳）の時期が「RL」の伸長期とみられること
- （2）「RL」は必ずしも年齢に比例しないこと
- （3）「情報」において学齢による差はみられないものの、「内容把握」においていわゆる「年の功」が認められるところから、大学受験対策で論理的文章、文学的文章に触れる頻度が増加したこととの相関が考えられること
- などが挙げられます。

以上の考察から、「年齢に関係なく」「どういった観点で読むことが求められているのかを知り、そのスキルを磨く」ことが大切であると言えるでしょう。当研究会では JRLT を通して明確に「指標」を示し、スキルアップのための契機を提供したいと考えています。

現代社会を生きる我々に求められる「読解力」とは何か。従来型読解力から「新・読解力」へ。さまざまな媒体から大量の情報が発信される現代グローバル社会の中で「情報をどう読み、どう活かす」のか。中学生、高校生、大学生、社会人の皆様に広く JRLT をご活用いただき、「リーディングリテラシー」の修得に貢献したい。そう願います。

No.
07

ELPA
Vision

2021 年 3 月 30 日発行
発行人：根岸雅史 ロゴ・フォーマットデザイン：ユーフォーブックス
発行所：特定非営利活動法人（NPO）英語運用能力評価協会（ELPA）
〒162-0806 東京都新宿区榎町 39-3 神楽坂法曹ビル 501
Tel: 03-3528-9891 Fax: 03-3528-9892

クラス分け・レベル分け特化型テスト (PBT・CBT 対応)

新登場 英語プレイスメントテスト EX

一人ひとりの実力にあった講義・学習のために
すばやく安価なプレイスメントテストを

発 展

英語プレイスメントテスト Advanced /α

【英検準1級／TOEIC®800点 程度まで／CEFR レベル A1 ～ B2】

実 践

定価 1,200 円 (税別) / 定価 1,000 円 (税別)

標 準

英語プレイスメントテスト / プレイスメントテスト EX

【英検3級～2級／TOEIC®300点～700点 程度／CEFR レベル A1 ～ B1】

定価 800 円 (税別) / 定価 750 円 (税別)

基 礎

英語プレイスメントテスト Core

【英検準4級～準2級／TOEIC®300点～450点 程度／CEFR レベル A1 ～ A2】

定価 600 円 (税別)

英語プレイスメントテスト Advanced 英語プレイスメントテスト α		内 容	問題数	時間	スコア
Part1 リスニング		大意把握問題／情報収集問題／総合リスニング問題 音声再生一回のみ。Advanced は英文のみで構成。	30 問	25 分	300
Part2	語い・文法	英文のコンテキストを理解したうえで、語い・文法知識を運用する力を見る問題	48 問	15 分	300
	リーディング	大意把握、情報収集、要約、パラフレーズなどの技術をを用いて解く速読型の問題	20 問	30 分	300
合 計			98 問	70 分	900

英語プレイスメントテスト 英語プレイスメントテスト EX		内 容	問題数	時間	スコア
Part1 リスニング		大意把握問題／情報収集問題 EX は音声再生一回のみ。	14 問 EX:14 問	20 分 EX:13 分	100 EX:100
Part2	語い・文法	英文のコンテキストを理解したうえで、語い・文法知識を運用する力を見る問題	30 問 EX:24 問	15 分 EX:12 分	100 EX:100
	リーディング	大意把握、情報収集、要約、パラフレーズなどの技術をを用いて解く速読型の問題	16 問 EX:14 問	25 分 EX:20 分	100 EX:100
合 計			60 問 EX:52 問	60 分 EX:45 分	300 EX:300

英語プレイスメントテスト Core		内 容	問題数	時間	スコア
Part1 リスニング		大意把握問題／情報収集問題	12 問	15 分	100
Part2	語い・文法	英文のコンテキストを理解したうえで、語い・文法知識を運用する力を見る問題	16 問	10 分	50
	リーディング	大意把握、情報収集、要約、パラフレーズなどの技術をを用いて解く速読型の問題	12 問	20 分	100
合 計			40 問	45 分	250